

開成町 防災講演会
～「もしも」に備えて、私にできること～

令和7年12月20日（土）

13：30～15：30

開成町福社会館 多目的ホール

参加者 アンケート結果 集計

- 参加者数 102名（資料配布数）
- アンケート協力者数（紙での回答） 94名
- QRコードでのアンケート回答数 3名

1 参加者の性別

男性	女性	回答しない
52	42	3

女性の参加者が多く、関心の高さが感じられた。

2 参加者の年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	回答しない
1	0	1	6	10	24	52	3

70歳代以上が半数を占めている。若い人の講演参加啓発が必要と思慮する。

3 今回の講演内容は理解度

よく 理解できた	だいたい 理解できた	あまり 理解 できなかった	全く 理解 できなかった	無回答
43	48	1	1	4

4 印象に残っている内容についてあてはまるもの【複数選択可】

能登半島地震の実際	44
避難・避難所・福祉避難所	35
災害時の要支援者を守ること	24
災害時ボランティア活動・災害ボランティアセンター	51
トイレ問題	76
共助が機能する地域	54
その他回答（自由記入）（別紙）	9

5 講演会参加後、実施できると感じた災害時の行動（自由記入）

別紙

6 総括

ここ数年実施した「防災講演会」のなかでは一番よかったという声もあり、防災意識の高揚、特に「共助の重要性」について理解いただけたとアンケートを通じ感じた。

4 印象に残っている内容についての自由記入

災害発生をイメージすること マニュアルにまどわされるな	2
被災したら支援を受ける。[→共助が機能する地域づくり?]	1
多様な視点で声を出すことが重要であり地域とのつながりを持つこと [→共助が機能する地域づくり?]	1
身近に助け合いネットワークを作っておくこと [→共助が機能する地域づくり?]	1
公助でなく共助が重要 [→共助が機能する地域づくり?]	1
普段から人とのつながり [→共助が機能する地域づくり?]	1
受援力	2

※自由意見のうち講話項目に含まれるものは、「印象に残っている内容」に含めた。

参加者の性格による自由意見

講話の演題と違い、経験にもとづく災害対応報告で自慢話に思えた。	1
---------------------------------	---

5 講演会参加後、実施できると感じた災害時の行動は（自由記入）【要約】

記入数 74（1人での複数回答あり）

自助	自分のできることを考えて行動、自分の身を守る（自助）	13
	まず家族の位置確認	3
共助	地域の人との日頃のコミュニケーション（状況の把握・情報収集）自治会活動	21
	近隣者同士によるボランティア、助け合い	11
	顔が見える関係づくり、声をかけられる人間関係づくり、地域の目配り行動	4
	共助ができる時期になったら協力する。	3
	周囲の状況を把握し動いていきたい。マニュアルにこだわらない行動	2
	受援に事故、犯罪がないようにする。[→避難所犯罪防止?]	1
	コミュニティーマッチング	1
	共助の精神を育む家庭環境づくり	1
	マニュアルをみんなで作成	1
共助・要支援者対応	近隣住民・避難行動要支援者の確認	2
要支援者対応	地域内安否確認態勢作り、支援行動	2
	上下関係や差別が生まれない状況づくりが重要	1
	多様性重視（老若男女）した行動	1
トイレ	携帯トイレの備蓄 運用（使用方法の掲示）	9

その他の自由意見：

参加者が高齢者であるための意見

●司会者 主催者あいさつのマイクの音量が小さく聞き取れにくい。	1
●資料・スライドの背景がグリーンで読みにくく疲れる。	